

# 兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会  
発行 兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎(078)341-0563(代)  
FAX (078)341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email:info@hyoshoren.co.jp

2018年12月  
第316号

# たたかってこそ権利が守られる 憲法をくらしにいかそう

今、憲法を変え、「戦争する国づくり」へと暴走する安倍政権。私たちの商売とくらし、いのちは、憲法によって守られています。世界に誇るすばらしい憲法を守り、生かすために力を合わせましょう。

## 個人の人權を尊重 する憲法を大切に

渡辺 強司さん  
【姫路民商】  
今、私たちがやって



今、私たちがやって  
いるこの権  
力とのたた  
かいは、憲  
法13条の国  
民の権利、  
25条の生存  
権で守られ  
ているから  
こそ権利を  
主張できて  
いると思っ  
ます。

私が役員になったのは、民商に入って税務調査を受けたのがきっかけです。姫路民商の会長になった直後、税務署の立会い拒否で、更正の乱発の攻撃を受けました。仲間が廃業に追い込まれ、権力の横暴さに驚いたのが今も怒りの根底にあります。所得税はさることながら、そもそも業者つぶしの消費税は憲法25条の生存権からみて違反です。なぜ、税務調査によって、商売人の

しかし、安倍政権が祈願している改憲論の中に「国のために国民は何ができるのか」とあります。今の憲法は「個人の人權を尊重している」私はこちらが大切だと思います。現行憲法で「人權」があるからこそ、私たち業者の要求を主張でき、それが通っているのではないのでしょうか。私たち民商がやっている税務署とのたたかいても、業者としての権利主張も、憲法により守られています。



## 9月から75人の部員増やし 前総会時現勢突破

【兵青協】  
11月18日、東京で全青協第43回定期総会が開かれました。兵青協は表彰基準を突破しようと、全県あげて拡大運動に集中し、前総会時現勢を突破し、1340人の部員数に到達しました。最後の最後まで、全県が集中して成しとげた成果です。総会では濱本亮事務局長が、西日本豪雨災害の支援について報告をしました。

## 声をあげ 平和を守ろう

【神戸親和民商】  
片町小夜美さん  
長崎生まれですが、年齢的にも、悲惨な経験談を聞いたことはありません。でも、記憶をたどれば、修学旅行で行った原爆資料館で

あれから年月が経ち、三宮でスナックをする中で民商に入り、誘われるまま原水爆禁止世界大会に何度か参加させて頂きました。「核兵器はなくさないといけない!」「平和を守るために、私たち一人ひとりが声をあげることが大切」と学びました。

## 人間の尊厳を守ろう 共同の輪を広げ

【垂水民商】  
大谷 恭二さん  
「人間らしく豊かに生きたい」、すべての人の願いです。憲法25条は、すべての国民に最低生活の保障を基本にしています。生存権の問題は、すべての権利にかかわってきます。高い税金や社会保険料などに、換価の猶予や納税の猶予など申請することも当然の権利です。また、最低生活



神戸市教育委員会との話し合い(11月15日)

今、あらためて呼びかけを受けとめたいと思います。朝日提訴の戦いの歴史もあります。憲法25条の規定は、世界に誇る条文という評価もあると、比較して決める道として決めることが大切だと考えます。

## 義務教育は無償に

【神戸北民商】  
田川 典子さん  
毎年就学援助の申請をして、かれこれ10年。子ども4人を育てています。今は小学生2人が就学援助を受けています。その中で、義務教育は無償に



を他と比較して決めるのではなく、自らが生きる道として決めることが大切だと考えます。

障害を抱えている子どもたちなので、何かと「費用」がかかります。どの子どもも、平等に教育を受けることを保障する「就学援助」はまだまだ受けづらいなど、ためらいのある方も周りにいます。憲法に保障された「義務教育を受ける権利」は、どの子どもも保障されなければなりません。



沖縄・辺野古で(2017年1月)

感じた恐怖の記憶は今でも覚えています。あれから年月が経ち、三宮でスナックをする中で民商に入り、誘われるまま原水爆禁止世界大会に何度か参加させて頂きました。「核兵器はなくさないといけない!」「平和を守るために、私たち一人ひとりが声をあげることが大切」と学びました。



# わたしの商売自慢

## 異業種交流会

【兵庫民商】

11月9日、兵庫民商は、経営部会主催で「わたしの商売自慢」異業種交流会を開き、28人が参加しました。コーディネーターに兵庫県中小工業研究所の近藤義晴所長を迎え、パネリストを防水工事業の奥井清さんと人形・花火小売業の江戸唐音さんの2人をお願いしました。



**職人を大切に**  
今年で開業38年目の奥井防水工業の奥井さんは、親の商売を継がず、当時勤めていた防水工事の親方が夜逃げをした事をきっかけに31歳で開業。

開業当初は仕事の確保や資金繰り、現場をおさめるのに苦勞し、長年商売を続けるなか

でお客さんからの信頼を積み重ね、今はあまり営業をしなくても仕事に来るようになったと話してくれました。



積極的に名刺交換

「家族の理解があると、職人さんも気持ちよく働いてもらえる。そのために奥井さんは職人さんの家族への気づかいを欠かしません。そのせいか、奥井さん自身「来るものは拒まず、去るものは追わず」が信条と仰っていました。職人さんは比較的長くいる方が多いとの事でした。

に父親から引き継いだ江戸さんは、「継いだ当時の『どん底』の売上げを当初は『安売り』で伸ばそうとしていた」とふり返りま

「お客さんに納得して買ってもらおう」事を大事にしてきた結果、「客単価や利益、売上げも増加してきて」と言います。しかし、業界全体としては

「客単価や利益、売上げも増加してきて」と言います。しかし、業界全体としては衰退しているため、気が抜けない状況があることや、自分以外に「売ること」を任せる事が

「客単価や利益、売上げも増加してきて」と言います。しかし、業界全体としては衰退しているため、気が抜けない状況があることや、自分以外に「売ること」を任せる事が出来る人材の確保など

「客単価や利益、売上げも増加してきて」と言います。しかし、業界全体としては衰退しているため、気が抜けない状況があることや、自分以外に「売ること」を任せる事が出来る人材の確保など

## 平和と憲法を守ろう

神戸憲法集会に参加して

細谷 富士子さん 【灘民商】

私は1947年生まれます。侵略したり、戦争をしない国で憲法9条を守られて今日まで歩んできました。

72年前に日本国憲法が公布された11月3日に開かれた神戸憲法集会に参加しました。会

場にあふれんばかりの参加者を前に、一橋大が「安倍改憲の危険性と改憲阻止のたたかい」と題し、講演されました。



11-3神戸憲法集会

を阻んできた国民運動を指摘されました。自衛隊を明記する改憲案の危険内容を学びました。どの課題でも暴走し続けている安倍政権は行きづまり崩壊が始まっています。

私たちの運動の力で打倒できます。消費税増税をはね返し平和でこそ商売が続けられます。子どもや孫が大きく育つ時に日本が戦ずる国になっているのは

ごめんです。憲法9条を絶対に守りたい。いっしょにがんばりましょう。

多様性を尊重する地域社会づくりを目指し、今回も「障害者とともに暮らす地域社会を」をテーマに11月11日に開催。1000人の住民が参加しました。

ステージでは和太鼓や地元シンガー、大阪芸大の学生らによる大道芸とバルーンアート、パン食い競争など。「障がい者が19人

## 私の商売ものがたり

NO.190

沼田 宏一さん

(民宿)

但馬民商



### 四季おりおりの旬の味

名刺交換で商売交流

創業50年の七釜荘は、天然温泉かけ流し。名物の釜風呂で

「お客さまに但馬でとれた旬の味を提供できるよう、最善をつくします。ぜひ、七釜温泉・七釜荘にきてください」と熱いメッセージが届きました。

とも商売を伸ばしている。信頼の構築が売上や利益の増加につながる」と、まとめられました。

パネルディスカッションでは、参加者からも商売のアピールや質問が積極的に出されました。

## ものづくり☆商店まつりを開催

【西宮民商】

も殺害された『やまゆり園事件』から3年、どんなに重度な障がい者でも一緒に暮らせていける地域社会の在り方を考えましよう」と主催者から。

飲食やフリマ、保健鍼灸師会による医療相談、借地借家人組合による家賃お悩み相談、弁護士相談なども。「子ども食堂」では

焼き肉店の会員が和牛肉5キロを、喫茶店の会員がご飯二升を提供、婦人部が調理したカレーに青年部が炭火

で焼いた牛肉をのせて、98人の子どもたちに振る舞いました。



ことども食堂

## 七釜荘

〒669-6741 兵庫県美方郡新温泉町七釜 337 TEL:0796-82-2458 FAX:0796-82-3691

## 経営情報

国民健康保険証の切り替えの時期です。保険料滞納者には正規の保険証を取り上げ、短期証や資格証明書が発行されます。病气や事業体廃止、生活困窮など「特別な事情」があれば国保証は発行されます。国保証交付、国保料・医療費の減額・免除の相談は民商へ。

## 編集後記

ニュースで軽減税率について町の人が「買う方より売るのが大変」と業者目線で答えていたのが印象的。増税・軽減税率は報道されても、インボイスはあまり報道されません。学習し、署名を広く集め、改悪を知らせ、中止させましよう。(H)